

問 1. 人口ビジョンを踏まえた、私の考える「人口減少対策」とは

(0) 全体を通じて

- 例) 人口減少は避けられないので、「税収確保」のために企業誘致を重視すべきではないか。
- 例) 単独の自治体では生き残れないので、隣接市等との連携（事業の共同化）を図るべきではないか。

問 2. 個別の分野ではいかがですか。

(1) 「子育て・教育」分野

- 例) 学力の向上は親として最大の問題。民間の塾などの力も借りるべきでは。
- 例) 将来「働く」ことを前提とした「具体的なキャリア教育」が必要。ものづくりや、信楽焼などを担う人材を育成すべきでは
- 例) 保育料の無償化よりも、時間外保育、病時保育などの保育の「質」を高める取り組みが必要では。

(2) 「地域経済」分野

- 例) 多様な「職種づくり」も大切だが限界。今ある「ものづくり企業」が撤退すれば、地域経済に大きな打撃。まずは外国人、女性、高齢者が「ものづくり企業」に就労する支援や、インターンシップが必要では。
- 例) 多様な「文化」「伝統」をビジネスに発展させる「人づくり」が必要。チャレンジする人を応援する制度（アドバイス、財源）が必要では
- 例) 「空き家」を活用した「民泊ビジネス」など、中山間地域の「あるもの」を活かす取り組みが必要では。

(3) 「福祉・介護」分野

- 例) 独居高齢者、障がいをお持ちの方を対象として、ICTを活用した見守りや介護サポートが必要では。
- 例) 災害時の避難所対応に不安を感じる。
- 例) 健康づくりや予防を重視した取り組みが足りない。特に自治振興会や区・自治会との連携が必要。

(4)「その他」分野

例) 都市計画の抜本的見直し(市街化調整区域の見直し)

例) 結婚支援等の取り組みは、他の自治体と連携すべき。

例) 地域市民センターの必要性を考え直すべきでは。

※検討にあたり、ヒントとなるキーワードです。

※あくまで行政で示した「参考」です。キーワードにこだわる必要はありません。

【今後注目すべき、新たなキーワード】

1. 全世代活躍(我が事・丸ごと、女性、外国人、障がい者、人生100年時代)
2. 地域交通(地域自主運行、鉄軌道、歩行者の安全対策、職住近接)
3. 自然災害への対応(南海トラフ、国土強靱化、ゲリラ豪雨、リダンダンシー)
4. 未来技術の活用(ICT、Society5.0、働き方改革、生産性の向上)
5. SDGs(持続可能な開発目標、国、県の施策との連携)